

■児童・生徒の学力の状況

全国学力・学習状況調査の結果から、国語科では「知識・技能」区分の正答率が全国値を7.6ポイント、「思考力・判断力・表現力」の区分で全国値を0.3ポイント下回った。また短答式での問題形式では、全国値を9.1ポイント下回った。
算数科では、全ての領域において全国値を下回り、特に「B図形」では、全国値を6.5ポイント下回った。加えて記述式での問題形式では、全国値を7.6ポイント下回った。

■授業革新推進に向けた、指導上の課題

- 学びの主導権を子どもたちにシフトさせるための授業計画が計画されていない。
- タイピング能力等、GIGAスクール構想に向けた児童一人ひとりの基礎力に不均衡さが感じられる。
- 国語科における学習の基礎力を向上させるための活動が効果的に指導できていない。

■学校経営方針より(学力向上に関わる内容から)

- 「板橋区授業スタンダード」に基づく授業革新を基に指導方法の改善に努め、児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業革新を進める。
- ①各教科や総合的な学習の時間の中で、「問題解決型の授業」を積極的に取り入れ、協働して学び合う態度を育てるとともに、生涯にわたって学び続ける意識と、粘り強く探究する態度と学び続けるための資質・能力を養う。
 - ②一人一台端末を活用し、確かな学力の育成に努めると共に、個別最適な学びと協働的な学びを実現し、情報活用能力を含む資質や能力を育成する。
 - ③「東京ベーシックドリル」を活用した学力向上に向けた放課後の補足的な学習を展開させ、全ての学年で朝モジュールの時間を活用した読書習慣と、長期休業中の補習を利用しながら、粘り強く学習に取り組む態度を身に付けさせる。

■授業革新推進に向けての具体的な方策

視点1	視点2	視点3
<p>問題解決型の授業展開の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ○探究的な学習過程を一層重視し、各教科等で育成する資質・能力を相互に関連付けながら、児童が課題解決場面において自ら問いを立てたり、目標を設定したりできる授業計画を、全教師が立案する。 ○問題解決の過程における学びの共有を適宜図ると共に、そうした過程に生じる協働的な取組を大切に、児童のコミュニケーション能力の向上を図る。 	<p>一人一台端末環境を活用した授業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一人一台端末を活用した学びの個別最適化を促し、児童の情報活用能力を育む。 ○ドリルパークを使用した家庭学習の推進を図り、学びの個別化を図る。 ○児童一人ひとりの興味や関心に基づく追求を支援し、学びの複線化を保障する。 	<p>補足的な学習活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ○朝モジュールの時間を活用し、読書活動に親しませると共に、板橋区電子図書館を含む学校図書館を活用した学習活動を全学年が設定する。 ○放課後補習教室(たけのこタイム、パワーアップ教室)を毎週開催し、学校全体の学力向上を図る。 ○長期休業期間中を利用し補習教室を開催し、自ら学ぶ意欲を大切にする。

■いたばし学び支援プラン2025の実現に向けた具体的な取組

舟渡小GIGAスクール構想の推進	持続可能な教育活動の展開	地域で協働する学びの循環
<ul style="list-style-type: none"> ☆「基本的な操作、問題解決・探究における情報活用、プログラミング、情報モラル・情報セキュリティ」の4つの学習内容について、教育課程全体を通して確実に育成する。 ☆「ドリルパーク」等を活用して、児童一人ひとりの学習進度に合わせた学習の機会を保障する。 ☆自分に合った学び方を調整することができるデジタルとアナログのハイブリッド化を進め、端末をより有効的に活用できる場面を吟味する。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆「板橋区授業スタンダード」、すっきりした教室環境づくりなど、全ての児童にとって学びやすいユニバーサルデザイン環境で学習できるよう全校で取り組む。 ☆特別な支援を必要とする児童への教育活動を充実させるため、特別支援教育校内委員会が中心となり作成した「個別支援計画」と「学校生活支援シート」に基づき、保護者やスクールカウンセラー等と連携した指導を進める。 ☆校内スペースとしての「f-youth」「ふなっこの港」の更なる充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆「これからの板橋を語るiカリキュラム」(郷土愛)の育成のため、地域とより一層の連携を図る。 ☆学びのエリアである志村第五中学校と「めざす子ども像」について共通理解を図り、系統性をもった教育活動を進めていく。 ☆朝モジュールの時間や週に1回の図書室の時間を活用し、児童に読書習慣を身に付けさせると共に、板橋区電子図書館の活用を促す。